

ライブラリィ と や ま

書庫にある資料にふれる
(17) 越中立山異変之図 (中島文庫所蔵)

県立図書館には、以前紹介した「志田文庫」や「冷光文庫」をはじめ、貴重な特設文庫が多くあります。今回は、その中から「中島文庫」にある資料に触れます。

中島文庫は、郷土史家・山岳史研究家で俳人であった中島正文氏（1898-1980 津沢町〔現小矢部市〕生まれ）が収集された、山岳古史料、古俳書、古絵図などの郷土資料を含む蔵書4,500冊からなるコレクションで、昭和59（1984）年8月にご遺族から寄贈されました。

砺波地方の篤農家であった宮永正運の血を受け継ぐ中島正文氏は、地元津沢郵便局長の職に就く傍ら、日本山岳会員として黒部奥山研究に携わるなど山岳史研究の先駆者でした。また、杏子の俳号で前田普羅の衣鉢を受け継ぎ、俳誌『辛夷』の主宰を務めると共に、私立中島図書館の創設者、津沢町立図書館長、富山県図書館協会会長としても活躍されました。

今回取り上げた『越中立山異変之図』は、安政の大地震に関する絵図（写図）です。安政5（1858）年、越中・飛騨地方に地震が起きました。跡津川断層の活動により引き起こされたもので、近年の研究では、M7.3からM7.6と推定される大地震でした。本図には、「安政五戊午年二月廿五日夜大地震、立山温泉并山々変地不思議為躰此図面ニ書頭ス也」と記されています。山崩れでできた水溜まりの大きさを朱で囲み、噴煙が3か所から吹きあがっている様子などが描かれており、地震の被害を伺い知ることができます。

当文庫資料の特徴として、中島正文氏が研究や資料収集過程でオリジナル資料を自ら筆写し

た絵図や古文書、古記録も収蔵しています。その中には現在、原本・原図の所在が確認できないものもあり、研究者や研究機関の調査研究活動に大いに役立てられています。これらは、当館ホームページの「古絵図・貴重書ギャラリー」内に【立山～祈りと暮らし】というテーマ項目を設け、一部をデジタル画像で公開しています。

なお、中島正文氏の山岳研究は、元県立図書館長で郷土史家でもあった廣瀬誠氏の手によって『北アルプスの史的研究』にまとめられています。

参考文献

- ・『越中立山大鷲崩れ』（富山県立山カルデラ砂防博物館 1998）
- ・『1858飛越地震報告書』（中央防災会議 2009）
- ・『北アルプスの史的研究』（中島正文／著 桂書房 1986）
- ・『中島文庫目録』（富山県立図書館 1984）
- ・『富山県文学事典』（桂書房 1992）



『越中立山異変之図』

図書館の内側ってどうなってるの？ ～大人向け図書館見学ツアーを開催しました～

令和7年11月30日（日）に、大人向け図書館見学ツアーを行いました。午前と午後の2回に、計19人が参加されました。

はじめに、当館は富山市の中心部から呉羽に移転して56年になること、約110万点の資料を所蔵していることなどの概要を説明しました。その後、約1時間かけて、閲覧室のほか、書庫や事務室などを、担当者の説明を聞きながら、見学していただきました。

参加いただいた方々からは、「普段見ることのない書庫や返却ポストの裏側などを見学できて、よい経験になりました」などの感想をお寄せいただきました。



3階建ての「旧書庫」は、各階約10万冊を収蔵しています。平成11（1999）年に増築された書庫「資料センター」は地下1階・地上3階で約100万冊の資料が保管できます。



明治18年以降の県内の新聞を製本して保存しています。今回の見学ツアーでは、その一部を見ていただきました。



ブックポストの内側です。返却本が落ちるボックスの底には、本が傷まないようにクッション材が敷かれています。



旧・総合目録のなつかしい目録カードケースです。平成14（2002）年にホームページに「県内図書館横断検索システム」を開設する以前は、主にこれで県内図書館の所蔵を調べていました。



前庭には、当館の特設文庫ゆかりの石碑があります。この碑は中島杏子（本名・中島正文）の句「夏山や地獄を抱きて紺青に」の句碑です。

「トミタン古本市&おはなし会 in 県立図書館」を開催しました

令和7年12月7日（日）に、富山短期大学経営情報学科東野ゼミの学生が、「つながりのコレクションルーム」でトミタン古本市とおはなし会を開催しました。

おはなし会では、ほるかめぐみさん（中学2年生）の自作絵本『きみのひかり、ぼくのひかり』のほか、学生による『ちいさいおうち』『ぐりとぐら』の読み聞かせと手遊びがありました。

古本市にもたくさんの方が来場され、学生が選書した約300冊の中から気に入った本を購入されていました。また、おはなし会後には子どもたちも楽しそうに本を選んでいました。

小さな子どもからご高齢の方まで、様々な世代が交流するイベントとなりました。ご来場いただいた皆さま、運営に携わられた皆さま、ありがとうございました。



トミタン古本市



ほるかめぐみさんによる読み聞かせ



富山短期大学生による読み聞かせ

県立図書館の英文多読用図書を紹介します！

英文多読という学習法を知っていますか？無理せず英語の本を読み進めることで、自然と英語力を身につける学習法です。原則は、①辞書は引かない、②わからないところは飛ばして読む、③つまらなくなったら後回しにする——です。

当館では、英文多読用図書を2階の国際プラザにご用意しております。本の背に貼ってあるピンク色のシールが目印です。『I can read book series』『Magic tree house series』『Classic Art Readers』など、いろいろなレベルや分野のシリーズを、令和8年3月現在950冊所蔵しています。

どんな本があるか検索したい場合は、当館ホームページの「本・資料を探す」内の「図書・雑誌検索」から、書名などを入力し、「対象資料」には「外国語」にチェックを入れてお探してください。（アルファベットの入力は全角、半角のどちらでも可能です）

図書リストから探していただくこともできます。「図書・雑誌検索」→「テーマ資料」タブ→「外国語資料リスト」内に「英文多読リスト」があります。また「本・資料を探す」内の「よく聞かれる本・資料について」→「英文多読用図書について」内には「英文多読用図書リスト」（PDFファイル）があります。印刷される場合にはこちらをご利用ください。

英文多読用図書は電子書籍でもご覧いただけます。現在ご利用いただけるのは『Collins - BIG CAT Graded Readers』205点です。12語から6,255語と収録単語数が幅広く、さまざまな読書レベルに対応しています。（電子書籍のご利用には登録が必要です。当館1階カウンターでお手続きをお願いします）

ぜひ、シリーズでの読書を楽しみながら、英語力の向上を目指してください！



3月に英文多読用図書50冊を追加しました。

お気軽に おたずねください レファレンス事例集

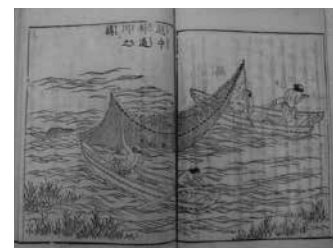
Q 江戸時代に、まずずしが富山名産であったことがわかる絵図はあるか。

A 富山のすしを紹介した本、『富山のすしはなぜ美味しい』『富山なぞ食探検』などを確認すると、まずずしの歴史や関係資料が紹介されています。江戸時代の諸国の産物を紹介した『にほんさんかいめいさんすえ日本山海名産図会 卷之四』には神通川の流し網漁の絵があり、越中神通川のます鱒は名品、と書かれています。時代は下りますが、明治時代の県内各種商店を描いた『中越商工便覧』には鱒すしを扱う関野庄右衛門の店舗（現在の関野屋）の外観があり、人々でにぎわっている様子が伺えます。

まずずしのほか鮎のすしも名物で、『越中史料 第2巻』には、享保年間に富山の鮎のすしを8代将軍吉宗へ献上したところ、賞賛されたと書かれています。富山のすしの評判は高かったようです。

参考文献

- 『富山のすしはなぜ美味しい』（巽好幸・土田美登世／著 北日本新聞社 2025年）
- 『富山なぞ食探検』（読売新聞富山支局／編 桂書房 2008年）
- 『日本山海名産図会 卷之四』（蔀関月／画 1798（寛政10）年序）
- 『中越商工便覧』（川崎源太郎／著 1888（明治21）年）
※原本：高岡市立図書館所蔵
- 『越中史料 第2巻』（富山県／編・刊 1909（明治42）年）



『日本山海名産図会 卷之四』
「越中神道（通）川之鱒」

ぜひご利用ください

新聞雑誌閲覧室のレイアウトが変わりました

本館1階・新聞雑誌閲覧室の書架のレイアウトを変更し、雑誌が見やすくなりました。背の高い書架を壁側に移動、低書架を手前に配置して、以前よりも見渡しがよく、ゆったりとしたコーナーになりました。

雑誌スポンサーが提供する『クロワッサン』『日経トレンディ』など読みやすい雑誌から専門誌まで揃っていますので、ぜひご利用ください。



新聞雑誌閲覧室



デジタルサイネージ

デジタルサイネージを設置しました

当館ロビーにデジタルサイネージが設置されました。

県立図書館周辺を通るバスの運行状況や周辺バス停への到着予想時刻が把握できるようになりました。

また、図書館のイベントや利用案内などのお知らせも掲載していきますので、図書館の利用にご活用ください。

新着読書会テキスト

- ・石原 伸晃〔ほか〕著 「石原家の兄弟」(新潮社)
- ・彬子女王 著 「飼い犬に腹を噛まれる」(PHP研究所)
- ・嶋津 輝 著 「カフェーの帰り道」(東京創元社) **～直木賞受賞～**
- ・阿刀田 高 著 「90歳、男のひとり暮らし」(新潮選書)(新潮社)
- ・小川 洋子 著 「サイレントシンガー」(文藝春秋) **～毎日芸術賞受賞～**
- ・畠山 丑雄 著 「叫び」(新潮社) **～芥川賞受賞～**
- ・山田 詠美 著 「三頭の蝶の道」(河出書房新社)
- ・佐藤 正午 著 「熟柿」(KADOKAWA) **～中央公論文芸賞受賞～**
- ・上野千鶴子、山内マリコ 著 「地方女子たちの選択」(桂書房)
- ・鳥山まこと 著 「時の家」(講談社) **～芥川賞・野間文芸新人賞受賞～**
- ・木下 昌輝 著 「豊臣家の包丁人」(文藝春秋)
- ・住田 祐 著 「白鷺立つ」(文藝春秋) **～松本清張賞受賞～**



1タイトルを10冊セットで貸出します。グループでの読書会にご利用ください。

<お問い合わせ先>

富山県立図書館 普及課
Tel.076-436-0229

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、5月8日
館内整理日 毎月第4木曜日(祝日の場合は翌日)
蔵書点検期間(令和9年1月26日～2月4日)
年末年始(12月28日～1月4日)

開館時間 火～金曜日(ただし、休館日を除く)午前9時～午後7時
土日・祝日(ただし、休館日を除く)午前9時～午後5時

貸出 1人10冊まで、15日間

交通機関 富山駅前発バス(4番乗場)
・高岡、小杉方面行バス 羽羽山公園下車徒歩10分
・新港東口行バス・国立高専射水キャンパス行き 県立図書館前下車

*資料のお問い合わせは、調査課へ
TEL(076)436-6812



ホームページ
図書・雑誌の検索や
新着図書の確認ができます



X(旧Twitter)
図書館の行事など
お知らせをつぶやきます

令和8年度 雑誌スポンサー募集中

詳しくは総務課まで、お問い合わせください。
ホームページでも案内しています。
TEL 076-436-0178